



【キヤッチフレーズ】
こう学、しゅう中、くり
ーんアップの小宿中
【向学に燃え意欲を持ち集中して物事に
挑みクリーンアップに取り組む小宿中】

「命の喜ぶ生き方『5つの誓い』」

校長 川井 功作

12月20日（土）令和7年度鹿児島県PTA委嘱公開奄美市大会が開催されます。

大会の中でご講演をいただく「腰塚 勇人」氏。元・中学校体育教師、養護学校教師。演題：「命の授業」～ドリー夢メーカーと今を生きる。と題して講演会が予定されていますので今回は、「腰塚 勇人」氏について少し紹介させて頂きます。

数年前、フジテレビ「奇跡体験！アンビリバボー」で紹介された腰塚勇人さんの「命の授業」。中学校の体育教師だった腰塚さんは、スキーの事故で全身まひとりなり、絶望の中で自分の命と向き合いながら、そのとき考え感じた様々なことを「命の授業」として伝え続けている方です。その中の言葉をいくつか紹介します。「命が大切 命を大切に その言葉を何千、何万回言われると同じくらい あなたが大切 この言葉に命は喜び 生きる力が湧きました」、「楽しいとき、幸せなときばかりじゃない 辛いときだって、苦しく不安なときだってある 『助けて』って言っていい その言葉を待っている人は必ずいる 力になってくれるドリー夢メーカーは必ずいる」・・・。

ズシンっと心に響いてきます。君たち一人一人がかけがえのない存在であり、「あなたが大切」なんだ。 君たちには必ず力になってくれる「ドリー夢メーカー」はいるのだと、腰塚さんは自身の経験から力強く訴えています。その一つ一つの言葉には、とても深さと重みを感じます。そして身体に障がいを残しながらも仕事に復帰したときに、自分で5つことを決めたそうです。「口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう」「目は人のよいところを見るために使おう」「耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう」「手足は人を助けるために使おう」「心は人の痛みがわかるために使おう」。この5つを腰塚さんは、「命の喜ぶ生き方『5つの誓い』」と表現しています。命の喜ぶ生き方をすると決め、それを具体的に行動に移すために自分との約束が「5つの誓い」だったそうです。私たちが日常生活を見つめ直す視点を与えてくれている気もします。口・目・耳・手足・心の使い方。改めてこの5つの視点で振り返ってみてはどうでしょうか。そして、自分の「命の喜ぶ生き方」について少し考えるきっかけになればと思います。

当日は、各学校参加人数の割当等もありますが、たくさんの保護者の皆様のご参加をお願いします。

「命の喜ぶ生き方『5つの誓い』」



